

身の回りチェック

本当にバスは使いやすいか

54期生

I テーマ設定の理由

私は通学するときなどでもあまりバスを使わない。だがこの前バスに乗った際、車内はうす暗くてアナウンスもほとんど聞こえず、心配になって5つ位手前のバス停で降りた。このことから、私でも困るのだから障害者やお年寄りなどはもっと困るだろうと思い、バスのバリアフリーについて調べてみることにした。

II 研究方法

1. インタビュー
- | | | |
|---|--------|------------------------|
| } | 利用者 | - お年寄り・40~50代・10~20代の方 |
| | バス会社の人 | - 分からない事をくわしく聞く |

2. 資料
- | | | |
|---|------------------------|----------|
| } | ◦ バス停にある資料 | → あればもらう |
| | ◦ 駅においてあるのをもらう | |
| | ◦ バス会社からもらう | |
| | ◦ 写真をとる - バスの外見・内側・バス停 | |

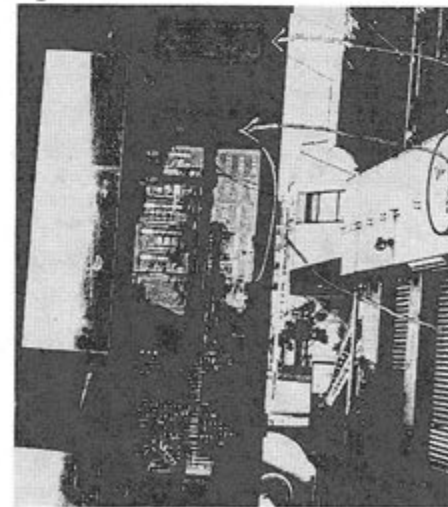
3. 体験 ◦ 自分でも普通バスとバリアフリーを考えたバスに乗り、比べてみる。

III 研究内容

1. 南海バスと市バス - 停留所の違い -

☆驚いたこと

①

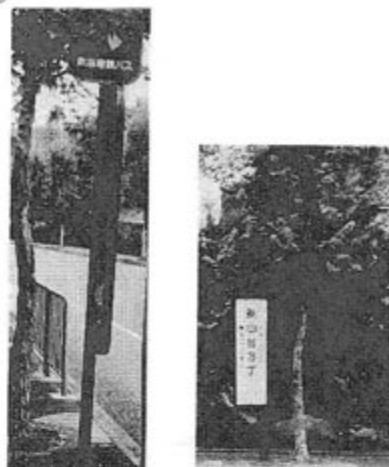


これは大阪市営バスの停留所の写真だ。大阪市内に住んでいる人はあまり驚かないと思うが、私にとっては驚きの停留所だ。

バスが来るとプレートが点めつし、音声で知らせる。その下にはバスとバス停間がどれくらいかを知らせる、バスロケーションシステムもあった(昭和56年4月から設置)。

バスロケーションシステム→利用者のバス待ちのイライラを緩和するため、接近するバスの位置を3~8つ手前から表示するシステム。

②



これは南海バスの停留所。①の市営バスの停留所と比べてどうだろうか。道幅は約50~80cmで狭く、いたる所に段差がある。ベンチもないから座れないし、風よけもないので冬は待っている間が辛い。

この2つの停留所を見て、どう思うだろうか。停留所を見る限りでは、市営バスの方が設備が整っており、バリアフリーの点でも色々と考えられていると思う。

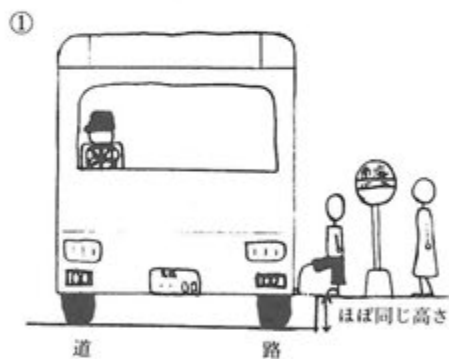
☆理想の停留所 -バリアフリーの点から-

- 点字付き時刻表
 - アナウンスが行き先を告げる
 - 車いすが入れる十分なスペースがある
 - ベンチがある
- ↑こういう設備があったら便利。実現して欲しい。

2. 南海バスと市バス -バスの違い-

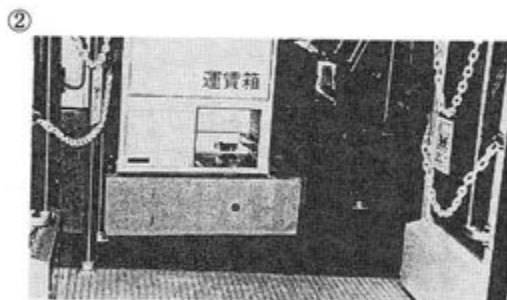
☆ノンステップバスって……?

みなさんはノンステップバスというバスを知っているだろうか。ノンステップとは『段差が無い』という意味で、ノンステップバスとは、乗った時の高さがそのバスの床の高さになるという、床がとても低いバスのこと。低床バスとも言う。



☆南海低床バスと市営ノンステップバス

これは南海のノンステップバス。すでに実用化され、泉ヶ丘発 金剛行きなどで走っている。車いす・盲導犬OKで、アナウンスもテープではなく機械がしゃべり、カードでの支払いも可能。大きさは同じ。



→これは市営のノンステップバス。まだ試験運転の段階で、実用化はされていない。このノンステップバスは大きさが4mしかなく、従来のより小さく車いすも1台しか固定できない。



バスを見れば、南海の方がだいぶ進んでいる。もっとくわしく、南海のバスを見ていこう。

3. 南海低床バスについて

※南海と市バスで低床とノンステップバスを使い分けているが意味は同じで、南海バスのインタビューの時に低床バスと書いていたのでそう書きました。特別な意味はありません。

☆南海バスさんに聞きました。

南海バスの、泉北ニュータウンから金剛方面に行くバスが集まるセンターに行き、そこで分からないことなどを色々聞いてみた。

Q. 南海バスが低床バスを採用したのはいつか。また当時と現在の台数は?

A. 平成10年。採用時→5両 現在→19両

Q. バリアフリー化を考えているのか。また、それはどんなことか。

A. 考えている。低床バスを徐々に増やしていく。

Q. 停留所設備の改善は考えているのか。

A. 電気を付けたいが工事や市との相談も必要。今の時点では難しい。

Q. 低床バスを採用したが、利用者の反応はどうか。

A. 喜んでくれる人も多いが、苦情の声もあるのも事実。理由は、低床にするとその分タイヤが入る場所がないので、タイヤの上の座席がもりあがってしまう。それで、座りにくいといわれる。だが、その点以外ならとても良いバスだと思うので、欠点をどうにか直していきながら低床バスを増やしていきたい。

Q. バリアフリーの点で他には負けないぞ、という点は?

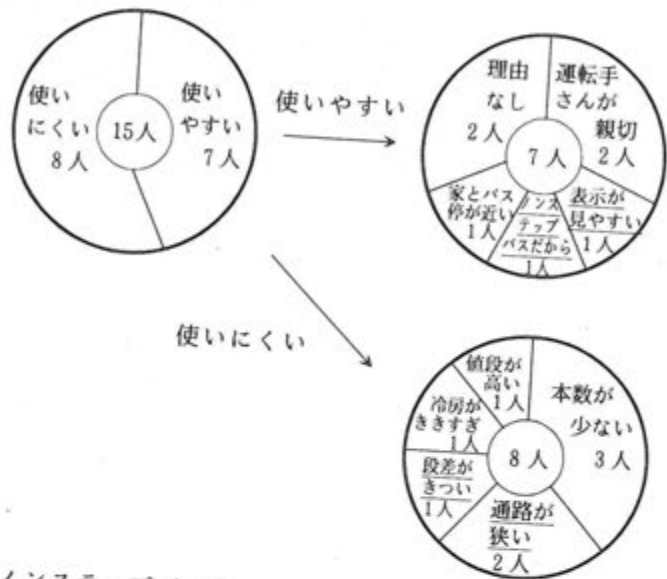
A. お金がないから車両数を増やすというのは無理だが、少しずつ中身を良くしていくこと。量より質を選んでもらえるようにしたい。

(以上) 南海バスさん、御協力ありがとうございました。

☆南海バス -利用者の声-

泉ヶ丘駅前のバスターミナルで南海バス利用者15人にインタビューした。

Q. 南海バスは使いやすいですか?



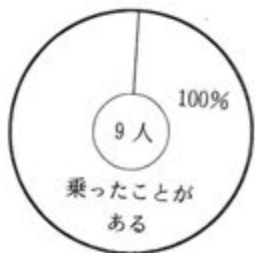
バリアフリー化に関心があると答えた人は40~60代の人が多かった。

Q. ノンステップバスを知っていますか?

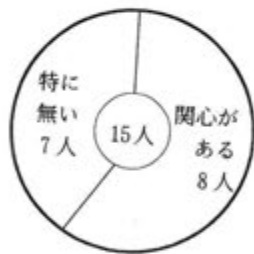


知っている人に...

Q. 乗ったことがありますか?

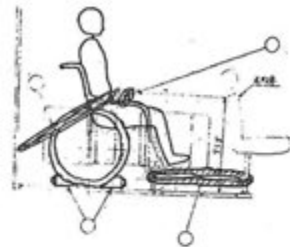
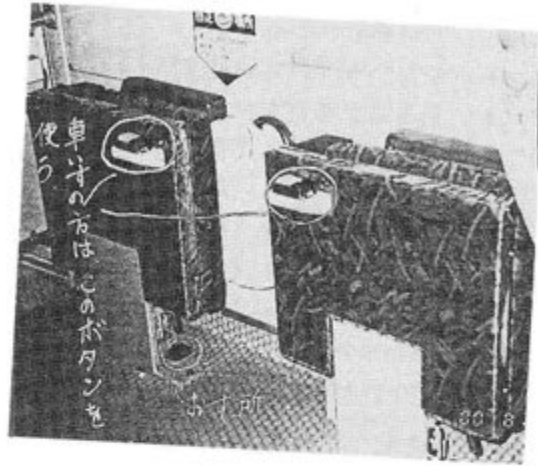


Q. バスのバリアフリー化に関心がありますか?



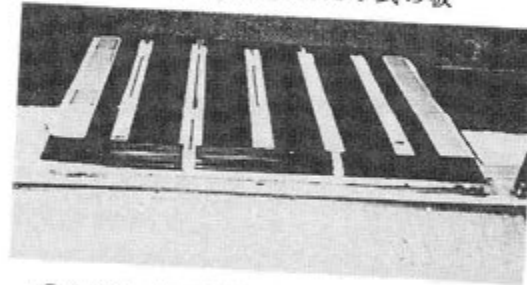
☆バリアフリーを考えた、すごいアイテム

①車いす乗り場



足で床のボタンを押すとさすがにすっきりとため、スペースができる。そこに車いすの方も乗ることができ、車いすを固定するベルトもちゃんとある。車いすに座った位置で簡単に降車ボタンが押せる様になっている。

②段差を無くす折りたたみ式の板



低床バスにしてもまだ段差がある場合、この板をわたす。乗車口の下に収納しており、すぐに出し入れできるようになっている。

③車内カメラ&行き先・降りる人数・時間が一目で分かる画面



バスの中全体を運転手さんが見れるようになっている。お客さんの様子も見れるし、何人位降りるかもすぐ分かる。安心度も増す。

④車いすの人が降りるのがすぐ分かるランプ



車いすの方が降りるのが早めに分かるので、乗り降りがスムーズになる。

③・④から分かるように、バスもデジタル化が進んでいる。

IV 結 論

- バリアフリーを考えた設備が徐々に増えているが、実用化されてなかったり不完全であったりし、まだ体の不自由な人達が使いにくい部分があると思う。
- 私のアンケートでは、若い人のバリアフリーに対する意識が低かった。
- バス会社がバスや停留所を変えていっても、利用者が知らずに乗っていたり、減ったら意味がないので、両者がよく知った上でバリアフリー化は進めていくべきだ。

V 総 括

バリアフリーの意識が低い自分に反省した。他の同世代の人達も、自分と関わりがある問題として見て欲しい。何十年か先には、自分達も老いて不自由な身になるかもしれないのだから。ただでさえ高齢化が進んでいるのだから、みんなで取り組むべき問題だと思う。まずは身近なところからできること、「なにかお手伝いできることはありますか?」のひと言からバリアフリーは始まると思う。

みなさんも、となりで困っている人を助けてみませんか?

VI 参考文献

- 乙武 洋匡 『五体不満足』講談社
- もりすぐる 『『障害者』と街で出会ったら』〔通りすがりの介助術〕
- ウイル編集部 ふん&ちゅん編 『車いすでお気楽極楽 おでかけ宣言』